日本キリスト教団東金教会〔２８〕

２０１９年７月７日聖霊降臨節第５主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式		上村井田本屋川
奏楽		中今藤藤土森
受付		
案内		
名札係		
礼拝	〃	
感謝	〃	
祈祷		
前奏		中村
讃美歌	21	一同
信仰告白		〃
交読文	25	司・会衆同
主の祈り	564	一同
聖書	ガラテヤ書	司会者
	1章1節～3節	
祈祷		井上
新聖歌	355	一同
み言葉の伝え		中村
〈召命〉		
讃美歌	164	一同
聖餐式	配餐者……	安藤
	祈祷者……	五木戸
讃美歌	168	一同
献金		
礼拝感謝		土屋
〃〃		森川
報告		井上
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		中村
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会７月１０日(水)午後7:30～
早天祈祷会月～金7:00(土/日/祭除く)
聖書輪読会7月14日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会7月１４日(日)10:25-10:30

【報告】

☆献金報告が週報棚及び受付にございます。各自ご覧下さい。
☆先週お献げした千葉支区の日第二献金は総額４６,６００円でございました。感謝して報告致します。尚、この献金は既報のように千葉支区内の諸教会の御用に用いられます。
☆７月１日持たれました支区伝道協議会は支区内６１の諸教会・伝道所中４０教会・伝道所、参加人数１０８名と盛会でした。
☆本日は教会清掃日です。お覚え下さい。
☆７月１５日(月・海の日)「東総分区教会の交わり」がメーヤー館でもたれます。今年は聖書翻訳の歴史および共同訳聖書についての学びです。お覚え下さい。
☆今年の教会学校１泊夏季学校は７月２３～２４日長柄町千葉支区少年自然の家」で、１日夏期学校は７月２６日(金)教会で持たれます。ご加祷下さい。

【分区・支区・教区報告】

○東総分区信徒の交わり会
７月１５日10:30～　於・メーヤー館

【7月7日～7月13日誕生者】

○土屋　君
※おめでとうございます。互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(6/30)	15	38	53
聖研祈祷会(7/3)	4	4	8
聖書輪読会(6/30)	2	2	4
教会学校(6/30)	8	18	26

早天祈祷会			
日	男	女	計
7/1	1	1	2
7/2	1	1	2
7/3	1	1	2
7/4	1	1	2
7/5	1	1	2

主日礼拝献金(6/30)……４９,０００円
教会学校献金(6/30)……１０,５５０円

【今日のメッセージ】

題　［召命］

聖　書　ガラテヤ書１章１節～３節

1.キリストによる王国の形成

2.聖霊の存在

3.使徒

4.祝福

【次週(７月１４日)礼拝案内】

題　〈キリストの恵みと平和〉
聖　書　ガラテア書１:３～５
交読文　２６
讃美歌　２３番　２２８番
新聖歌　１７６番

【次週(７月１４日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	中村
司式者	…	土屋
奏楽者	…	中村
受付者	…	三枝
案内者	…	梅田
名札当番	…	藤田
礼拝感謝祈祷	…	王
〃〃	…	寺内
cs お話し	…	戸波
会堂清掃者	…	岡部
〃〃	…	深山
花係	…	岡部
看板書き	…	戸波

【聖書から】

イエスは、天に上げられる時期が近づくと、エルサレムに向かう決意を固められた。・・・・。

ルカによる福音書九章五一～六二節

この書き出しから始まる物語は三人の弟子候補者と志願者の実例物語まで含めて、今日の福音書聖書日課とされ、キリストの「弟子」になるという、この期節の主題に相応しい箇所となっている。冒頭の一節は、エルサレムでの受難と十字架上の処刑死に向かう主イエスの決意を明示し、続く物語によってその歩みへの服従としての弟子の道が示されていく。

キリスト信仰には、受洗以前であれ以後であれ、実際的な服従という側面がある。それは、老若男女、学歴、職業や社会的地位を問わず、生涯を通じて継続され、個々人において完成・完了することのない、地上の営みである。キリストへの服従という課題で最も重要な問いは、自ら表明する「従います」が誤解や延期を含んでいないかということのみならず、自己実現や自己満足にすり替えられてはいないか、ということでもある。自我の問題である。これに気づいたからこそ、ローマ七章に述べられているキリスト者パウロの「なんと惨めな人間」という告白が生まれたのである。

恵みなしに服従は起こらない。しかも恵みは私たちが自由に引き出せない。神のご意志にかかっており、自動振出しはなく、生涯一度で常態化することはできない。それゆえキリストとの真摯な関わりがその都度必要とされ、新しい創造の力による自由な☒わたし☒とされなければ、我が身に服従は可能とならない。

主イエスの語られる「神の国」とは、言わばキリストとの恵みの関係の場である。私たちは礼拝に身を置き教会に帰属している。ここでいま神の自由な恵みに身を置き晒している。心を打ち開き、キリストの恵みとその力に身をゆだねるのみ、それこそ服従への第一歩なのである。

―六月三〇日　梅田與四男先生説教―

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。